

DEW パネルは壁高欄用のプレキャストコンクリート残存型枠です

- プレキャスト工場で製作するため品質が均一で耐久性（Durability）に優れます。
- 補強材に特殊加工した材料を使用し経済性（Economy）に優れます。
- 施工現場での足場を省略できることから施工性（Workability）に優れます。



エキスパンドメタル



設置状況（内側）

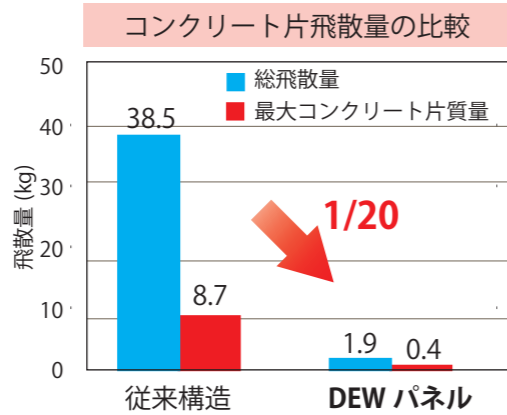


設置状況（外側）

耐衝撃性能確認試験

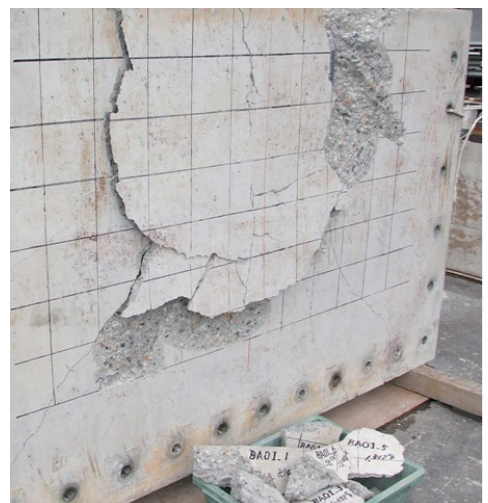


重錐落下状況



DEW パネルを用いた壁高欄の耐衝撃性能を確認するため重錐落下試験を行いました。

その結果、DEW パネル内部に補強されたエキスパンドメタルが押し抜き荷重に抵抗したことにより、コンクリート飛散量が 1/20 以下に低減し、周辺に対する被害を抑制することができます。

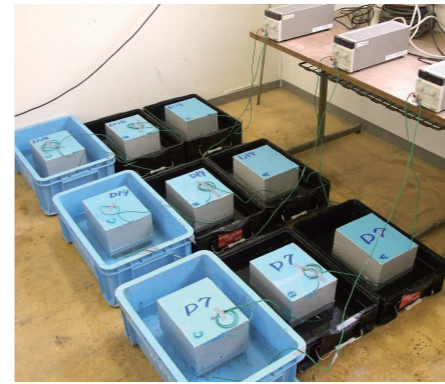


従来構造

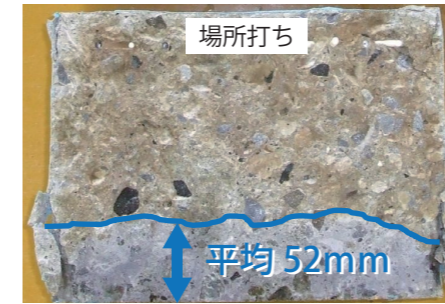
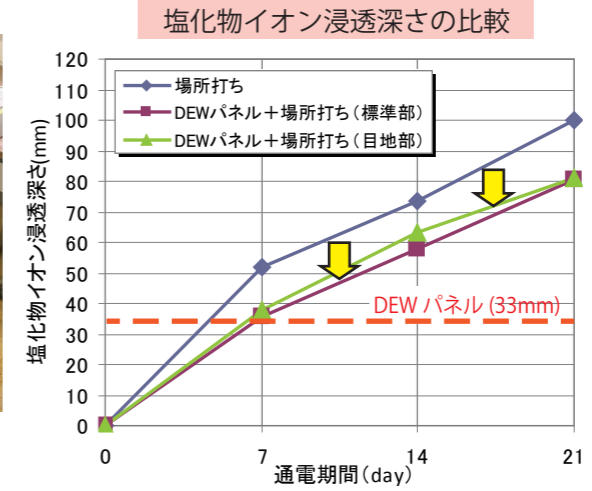


DEW パネルを用いた壁高欄

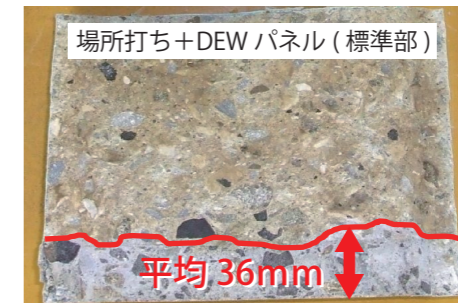
耐久性確認試験



促進浸透試験



従来構造



DEW パネルを用いた壁高欄

DEW パネルを用いた壁高欄の耐久性を確認するため、電気泳動による塩化物イオン促進浸透試験を行いました。

その結果、通常の壁高欄の浸透深さに対し、DEW パネルを用いた壁高欄は浸透深さが 16mm 浅く、耐久性に優れていることが確認できました。

また、目地部においてもシーリング処理することにより、一般部と同等の耐久性を確保していることが確認できました。

一体性確認試験

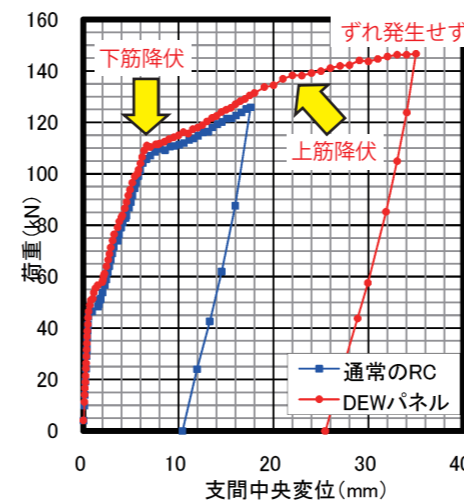


DEW パネルを用いた壁高欄の静的曲げ試験

DEW パネルと場所打ちコンクリート一体性を確認するため、実際の衝突荷重作用時と同様に DEW パネルが圧縮縁に配置した状態で静的曲げ試験を行いました。

その結果、ホウキ目処理を施した DEW パネルは場所打ちコンクリート内部の鉄筋（下縁鉄筋および上縁鉄筋の両方）が引張降伏した以降もずれ変位が一切発生せず、一体性が十分確保されていることが確認できました。

荷重-たわみ関係



DEW パネルを用いた壁高欄の支間中央のひずみ分布の変化

